35 F 521

新案公

管用新案出願公告 昭25-2022

昭 25.3.80

出願人 考粜者

當山市住吉町6 村 上

代理人 辨理士

古 田 庄 太 郎 外名

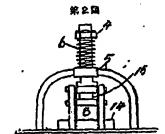
M

燒

配面の時解

第1回は木楽器の側面囲第2回は一部正面囲たり 費用緊塞の性質、作用及效果の要額

本案は弦枠 1 にコンロ2熱板3を装置し其の上に止 ナツト4と支承枠5にて挟持されたるバネ8を首 部に発疫し下端に焼型押了を附設せる昇降杆8を 役け該昇降杆に復行9を取付け足路杆10にワイヤ -11を通じて連繋せしめたるものなり間して圏中 12は上下相嵌合せる模型18は模型差入口14は昇降 行案內用好数I5は橫行調節遊運行I6は煙來I7は燃 料供給口18は灰出口とす本案は前記の如く楽枠1 上にコンロ2及型板3を設けパネ6を首部に発現 し下端に煌型押7を有する昇降杆8に横杆を附し ワイヤー川を通じて足階により昇降杆8を上下す べかもしめたる質燥型押配に質り従來の螺輛のも の。如く相當級き手力を必要とせず足力にて極め て軽く而も弧度し得るのみならず引上はパネ6に より一等に行はる。により焼型12の開閉は急速に 行はれ級品の膨脹を非常に良好ならしむると共に 身間の勢力を大いに軽減する脅め女子供にも容易 ド操作し得る等の效果ある新規の考案なり



登録請求の範圍

園面に示す如く豪枠1にコンロ2熱板3を装置し 共の上に止ナツト4と支承枠6にて挟持されたる パネ6を首部に発復し下端に挽型押7を削散せる 昇降杆8を設け該昇降杆に根杆9を取付け足路杆 10にワイヤー11を通じて連察せしめたる煎餅焼器 の構造

